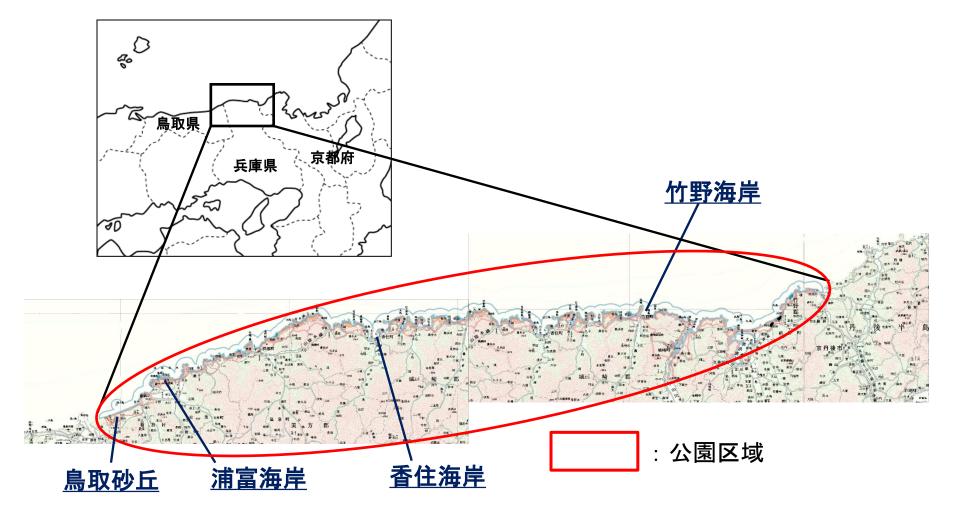
第27回自然公園小委員会 国立公園の公園区域及び公園計画の変更について

山陰海岸国立公園の 公園区域及び公園計画の 変更について

山陰海岸国立公園の概要

- 指定 昭和38年7月15日
- 面積 8,783ha(陸域)、12,772ha(海域)



海岸地形の博物館

- 海食崖、海食洞、岩礁等が多い海食海岸
- 海岸線が複雑に入り組んだリアス海岸
- 砂丘の発達する砂浜海岸



鳥取砂丘



浦富海岸



竹野海岸と猫崎半島

山陰海岸国立公園 経緯

昭和38年:山陰海岸国立公園指定

特別地域及び特別保護地区の指定

昭和46年:海中公園地区の指定

平成 2年:全般的な見直し(再検討)

平成8年:第1次点検

平成18年:第2次点検

今回変更の背景

- ①平成22年「山陰海岸ジオパーク」の世界ジオパークへの加盟の認定により、変化に飛んだ地形・地質が評価され、山陰海岸の重要性が世界的にも認められた。
- ②平成22年4月の自然公園法改正により、海中のみを対象とした海中公園地区から海域を含む海域公園地区に見直された。
- ③平成23年3月に環境省で策定した「海洋生物多様性保全戦略」により、海洋の生物多様性の保全及びその持続可能な利用の取組について一層の推進を図る方向性が示された。

変更のポイント

①海域公園地区の追加及び拡張

・本公園の地先海域は、陸域の岩礁、海食海岸、砂丘と一体となった 優れた海上景観を形成するとともに、釣り、海水浴等のレクリエーショ ンの場としても重要であることから、汀線から沖合1kmの範囲に3つの 海域公園地区を追加するとともに、6つの既存の海域公園地区を拡張。

②海域の公園区域編入

・上記①に伴い、既存の公園区域よりさらに沖合4kmの範囲について、 風景の適切な保全を図るため公園区域に編入

変更前	変更後	面積の増減
21,555ha	56,755ha	+ 35,200ha
「陸域: 8,783ha	「陸域: 8,783ha	「陸域: 0ha
海域:12,772ha	海域: 47,972ha	海域: 35,200ha
(う ち海域公園地区	(う ち海域公園地区	(う ち海域公園地区
6箇所:67ha)	9箇所: 10,103ha)	+10,036ha)

公園区域の変更

京都府網野海岸から鳥取県鳥取砂丘にわたり、陸域の特別地域と一体的に海域景観の維持を図る。

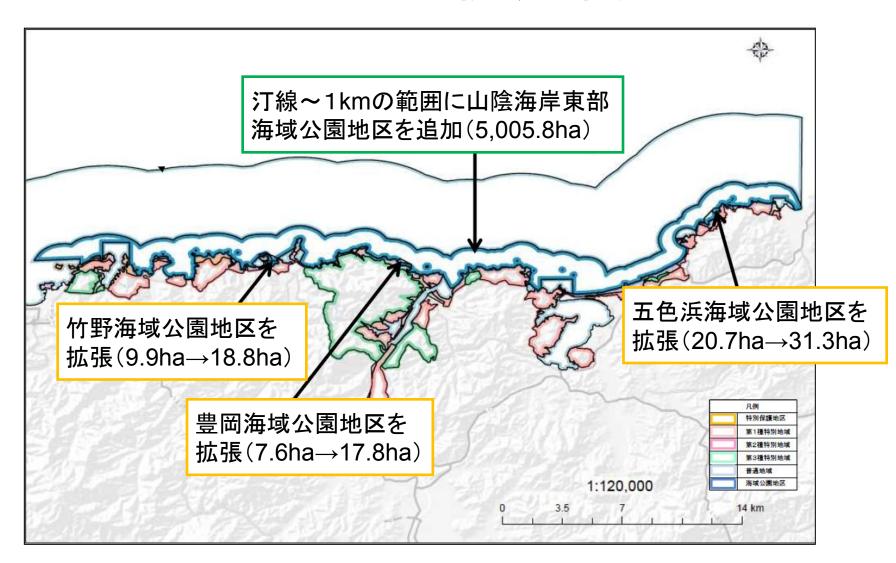
既存区域よりさらに沖合4kmの範囲を公園区域に編入 **陸域から水平線を望見した場合に視対象となる** 沖合5kmまでの範囲を公園区域とする



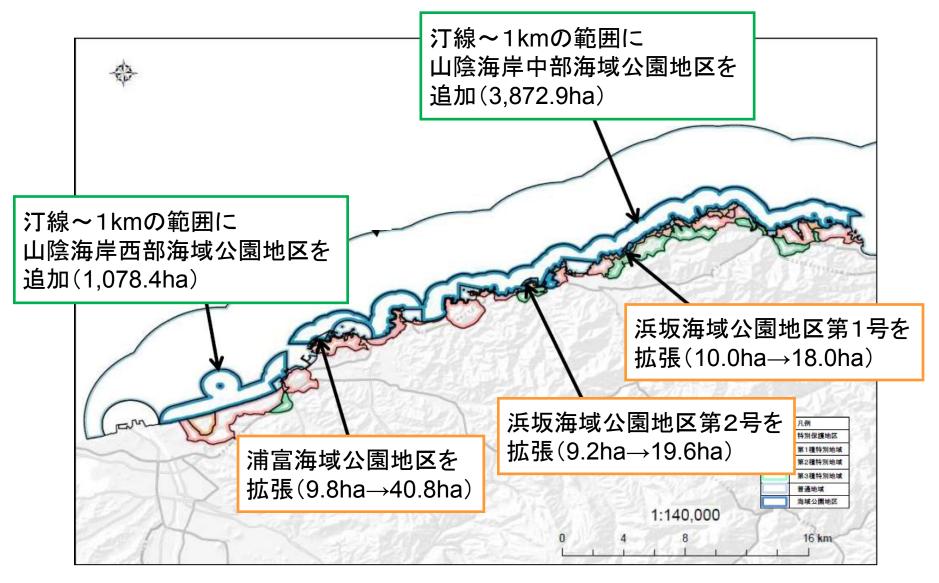
①五色浜海域公園地区

②来日岳(2特)から円山川と 海域を望む

公園計画の変更 海域公園地区の追加及び拡張(東側区域)



公園計画の変更 海域公園地区の追加及び拡張(西側区域)



公園計画の変更 海域公園地区の追加(新規指定)

以下、3地区は汀線から1kmの範囲に新たに追加

- 〇山陰海岸東部海域公園地区(5,005.8ha)
- 〇山陰海岸中部海域公園地区(3,872.9ha)
- 〇山陰海岸西部海域公園地区(1,078.4ha)

岩礁や海食海岸、砂丘と一体となった優れた海上景観を形成するとともに、 釣り、海水浴、スノーケリング、カヌ一等のレクリエーションの場としても重要。







公園計画の変更 海域公園地区の拡張(既指定)

以下、既指定の6地区について拡張

- **○五色浜海域公園地区**(20.7ha→31.3ha)
- 〇豊岡海域公園地区(7.6ha→17.8ha)
- **○竹野西部海域公園地区**(9.9ha→18.8ha)
- ○浜坂海域公園地区第1号(10.0ha→18.0ha)
- ○浜坂海域公園地区第2号(9.2ha→19.6ha)
- **○浦富海域公園地区**(9.8ha→40.8ha)

既存区域と一体的な優れた藻場景観及び 良好な藻場生態系を形成





山陰海岸国立公園の公園区域及び公園計画の変更を受けた今後の取組

- 今回の変更は、本公園の指定理由である、多様な海岸景観の保全の強化、海洋の自然環境の保全及びその持続的な利用の一層の推進に資する。
- 山陰海岸ジオパークとの取組とも連携しながら、迫力ある美しい海岸景観の保全と利用の推進が図られるよう、エコツアー等を通じて、日本国内のみならず、世界にその魅力を発信するよう努める。